

# もみじ台の 地域の 大広間

～地域の様々な団体が楽しい企画を用意しました～

気軽に集える憩いの場や、交流の場があふれるまちを目指して、今年も「もみじ台の地域の 大広間」を開催いたします。子どもからお年寄りまで楽しめるコーナーがありますので、どうぞお立ち寄りください。

日時 平成22年 **10月31日(日)**

**10:00～16:30**

第一部 10:00～14:30

第二部 15:00～16:30

入場無料  
・  
申込不要

場所 **もみじ台管理センター 2階大ホール・大会議室・1階和室**

## 第一部 10:00～14:30

### 参加・体験コーナー

- ・地域の茶の間  
地域の茶の間は、誰でも気軽に立ち寄れる交流の場です。
- ・フロアカーリング体験  
ご来場の皆様もフロアカーリングを体験いただけます。
- ・健康チェックコーナー
- ・紙ヒコーキ制作・実演
- ・もみじ丼の試食コーナー  
厚別区食生活改善推進員協議会で  
もみじ丼(400食)をご用意しています。

### パネル展

もみじ台地域で活動されている団体や、もみじ台で行っている取組をご紹介します。

### ステージ発表

舞台発表を行う予定です。



「もみじ丼」は、北星学園大学の学生さんが開発したメニューです。試食用のミニサイズをご用意します。当日は整理券を配布します。

## 第二部 15:00～16:30

「土田英順 チェロコンサート」 入場無料 開場14:30 開演15:00

主催：もみじ台の地域の 大広間実行委員会(もみじ台まちづくり会議地域まちづくり部会・もみじ台フロアカーリング部会・もみじ台地域の茶の間、厚別区食生活改善推進員協議会、介護予防センターもみじ台)

共催：札幌市住宅管理公社

協力：札幌市立大学、北星学園大学、北海道新聞もみじ台大久保販売所(もみじ台まちづくりサポーター)

問合せ先：もみじ台まちづくりセンター ☎897-6121 もみじ台北7丁目1番1号(もみじ台管理センター1階)

# もみじ台まちづくり通信

このまちづくり通信は、もみじ台のまちの将来を考える話し合いの経過を、地域の皆様にお知らせするものです。

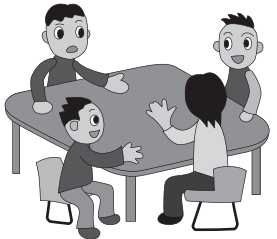
第8号

## 今年度も、10月31日(日)に 「もみじ台の地域の 大広間」を開催します

もみじ台まちづくり会議「地域まちづくり部会」では、「課題と方向性のまとめ」などを踏まえて、より良いまちにしていくための取組を話し合い、できることから取り組んでいます。

今年は、昨年好評だった「もみじ台の地域の 大広間」を、10月31日(日)に開催することになりました。(詳しい内容は4ページをご覧ください。)

また、今年度は、小学校の跡利用についても意見交換を行っています。(詳しい内容は「もみじ台まちづくり通信」7号(平成22年8月発行)の2～3ページをご覧ください。)



## 小学校の跡利用について返信ハガキで寄せられた ご意見の概要をご紹介します



小学校の位置

小学校名	もみじ台小	もみじ台南小
敷地面積	13,111㎡	13,789㎡
延床面積	6,462㎡	7,493㎡
建築年次	1972～1973	1978～1979

「もみじ台まちづくり通信」第7号(平成22年8月発行)で、「もみじ台小学校」と「もみじ台南小学校」の跡利用についての「地域まちづくり部会における意見の概要」や「札幌市の基本的考え方」をご紹介した結果、地域のみなさまから、返信ハガキで110通のご意見をいただきました。

寄せられたご意見の概要を次のページでご紹介します。





# 小学校の跡利用について返信ハガキで寄せられたご意見の概要をご紹介します

## 「もみじ台小学校」と「もみじ台南小学校」の跡利用について

### 社会教育の場とするための場所に

25件（南地区24件、住所不明1件）

- 社会教育コミュニティセンター（公民館）
- 現在の地域活動室の場を確保
- 売却条件として、一部を公民館
- 市住集会所に公民館を建設後、売却

### お年寄りが多くなっているので、その方々を支えるための場所に

22件（東地区6件、南地区11件、北地区4件、住所不明1件）

- お年寄りが集う場所に開放し、余裕スペースを子育て支援の場に
- お年寄りのコミュニティの多目的な介護施設
- 買い物が困難なので学校施設内に、コンビニや生協を
- 低廉で提供する配食センター
- 青葉町の「青葉のまち」のような施設
- 特別養護老人ホームや低廉で入居できる老人ホーム
- もみじ台小を老人介護施設
- 障害者や高齢者が、自立できる施設

### 様々な機能が複合された場所に

17件（東地区1件、西地区3件、南地区7件、北地区5件、住所不明1件）

- 老人施設・保育所・学童保育・茶の間全てを一か所に
- 「ちえりあ」のような複合施設で、グラウンドは、「ふれあい広場」など地域活性化となる複合施設
- 保育所・児童会館・まちセンなどを併せた複合施設にし、体育館は中学校の部活動
- 南小は、体育館・グラウンドは各種スポーツに。教室は、趣味や福祉の施設に利用
- 地区のコミュニティセンターとして利用
- 研修所・子育て支援、軽食などを併せた複合施設
- グラウンド・体育館は、安い料金で貸出し、建物は、保育園・リハビリセンター、習いごと貸出
- もみじ台にある病院を集約し、余った教室は、生涯教育の為の常設
- 老人ホームやデイケア等と保育所・学童保育を両立。学校のリフォームには、地域の建設会社に限定し、地域の活性化へ

### 地域の若返りのため、子育て世帯が住みやすくするための場所に

5件（西地区1件、南地区4件）

- 西興部の施設を、子供が遊べる場として参考に
- 保育・子育て支援センター（ちあふる）の設置
- 分譲すれば、若い人が入る
- 学童保育の場としてほしい
- 保育所・子育てサロン、学童保育の場として利用

### 地域を活性化させる場所に

13件（東地区3件、西地区1件、南地区8件、住所不明1件）

- 戸建に分譲すれば、若い人が増えて、街が活性化する
- 住宅として分譲し、若い人の流入に期待
- 一方は緑地。もう一方はスポーツ関連施設
- IT企業誘致が最適（国内最大級のデータセンター「クラウドコンピューティング」）
- IT産業を誘致し、若年者の雇用先をつくる。また、保育所の設置や体育館を利用。
- アパートやマンション等を建てて、若い人達に入居してもらいたい。コンビニも作ってほしい

### 身近なところで、色々な世代が集まって交流するための場所に

16件（東地区4件、西地区1件、南地区4件、北地区3件、住所不明1件）

- 子供と高齢者が交流できる場
- 地域の人が気軽に集まる、コミュニケーションの場
- サロン。喫茶店など気軽に集える場
- もみじ台小を、地域の体育館として利用
- 軽運動、おしゃべり、コンサートやカルチャーの場や習い事ができる場。子供の放課後の居場所、カフェや図書館があるとよい
- 南小は、様々な世代が利用できるスポーツセンター（浴場付）、他は緑地
- スポーツをしている子供達（少年団等）の利用

### 地域に若い人たちが集まり、学ぶための場所に

5件（東地区1件、西地区1件、南地区2件、住所不明1件）

- もみじ台小は、高校・大学や各種試験研究機関の移転先
- 福祉の専門学校として利用。授業の一環として、地域のお年寄りと交流、図書室・体育館・グラウンドの一般利用
- 福祉の学校+地域も交流・ボランティア活動を
- 大学の分校・専門学校やカルチャースクールとして利用

### その他

47件（東地区9件、西地区1件、南地区33件、北地区4件）

#### 【活用方法】

- 総合病院の設置
- ギャラリー付カフェで、野菜販売があったり、軽食が出来る
- 企業の研修施設
- 無料のパソコン教室とプール
- グラウンドを、さとらんの厚別支所
- (仮称)市民防災訓練所兼広域避難宿泊所
- 失業対策事業施設

#### 【管理運営】

- 管理運営は、市が中心で企業に賃貸
- 事業者や市に任せず、全ての利用者の共生が新しい道、また、住民が株主となることも検討すべき
- 規模を縮小し、市の施設として保有
- 現状のまま、使用するのであれば、市が管理し続けるべき
- 公民館運営は、自治会をはじめ住民の諸団体が協力する方式に

#### 【全般】

- 改装などに資金を要するので売却
- 一方は、売却してマンションにして、その利益で、もう一方の小学校の改修費用
- 南小の売却は反対
- 市場原理で事業者の経営が成り立たなくなった場合を憂慮
- 財産の区分所有も考えられるので、売却条件を早期に提示してほしい
- 地域住民の諸活動を最低限保障し、物心両面で支援する計画策定を
- 民間への売却は、受入れ難い

## まちづくり全般について

- 喫茶店がないので、話をしたり、打合せの場が欲しい。集会所の一部を気軽に出入りできる場に
- 戸建住宅地には、地区計画の制限があり、喫茶店などが開業できない状況。跡利用の検討も必要だが、何よりも住民の意識改革が重要
- 今の高齢化、閉塞的な街の機能更新に真剣に取り組んでほしい
- 市営住宅もマンション風に建替えて、きれいなまちにしてほしい
- 団地の孤独死をなくしたい
- 団地に若い人を優先的に入居してもらい、お年寄り率を下げる
- 地下鉄が延伸されれば、様々な世代の方が流入する



## 小学校の跡利用の検討の進め方

今回の返信ハガキでは、札幌市の公共施設として整備して欲しいというご意見も多数ありましたので、**札幌市の各種公共施設の配置の考え方に合致するものがないか、再度、札幌市内部で確認するとともに、民間事業者からの事業提案を募集し、活用方法を提案してもらいます。**

これらをもとに、「(仮)学校跡地活用計画(素案)」を年内にまとめ、**地域まちづくり部会や地域のみなさまからご意見をうかがっていきます。**